

環境・予防医学

担当講座	衛生学公衆衛生学講座	問合せ先	衛生学公衆衛生学講座
分野責任者	丹野 高三 教授	連絡先	5770
担当教員	丹野 高三 教授 赤坂 憲 准教授 田鎖 愛理 講師 事崎 由佳 講師 下田 陽樹 助教 小野田 敏行 客員教授		
人材育成の 基本理念	疫学研究方法論の基礎を学び、医療の重要な課題を科学的に分析し課題解決に向け計画を立案し、指導者の指導を受け実践できる人材を育成する。また、環境問題について、指導者の下客観的な評価をし、評価に基づいた対策を立案し、必要な措置を講じることができる人材を育成する。		
主な研究内容	21 世紀の社会は環境が重要なキーワードとなる。特に環境の変化と健康のつながりを理解することは、予防医学の実践において意義が深い。環境を地球環境と身近な環境に分け、環境の変化と健康変化の関係について学ぶ。また、各種疾病の病因論解明における疫学的作用を理解し、既存の病因論や関連論文を疫学的に評価・理解できる素養を養う。各種の疾病が自然条件以外にも社会・文化的条件の影響を受けて発生し経過することを学ぶ。疾病の発生や悪化を予防することの重要性、即ち医学における予防医学の必要性を理解する。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果		該当するディプロマポリシー
	(1) 環境と健康の相互関連の知識を整理することにより、健康に与える環境の重要性を認識できる。 (2) 生活習慣と健康の関連の知識を整理することにより、健康に与える生活習慣の重要性を認識できる。 (3) 環境の測定方法を会得する作業により、評価方法と評価基準を理解できる。 (4) 人間社会を対象とした研究の実施方法と研究のまとめ方を身につけることにより、研究の重要性を理解できる。 (5) 疫学的手法を学ぶことにより、科学的方法論を用いて説明できる。		1、2、3、4、5、6
到達目標	到達目標		対象科目
	(1) 生命科学や、医療行為のための基本的な知識・技能を活用できる。		医学概論
	(2) 計画に従って適切な研究を実施できる。		特別研究Ⅰ・Ⅱ
	(3) 研究結果を適切にまとめ、発表できる。		特別研究Ⅰ・Ⅱ
	(4) 高い専門知識や熟練した技能・技術で、多職種連携業務に貢献できる。		多職種連携チーム医療
	(5) 次世代の育成に貢献できる。		特別研究Ⅰ・Ⅱ、環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(6) 疫学の目的と手法について概略を説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(7) 疫学に用いる統計について概略を説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(8) 因果関係と疫学的手法との関連を説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(9) 有病率・罹患率を説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(10) スクリーニングの基本的概念を説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(11) 年齢調整を直接法・間接法を用いて行うことができる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(12) 断面調査の基本的特徴を説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(13) 患者対照研究の基本的特徴を説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(14) オッズ比を計算できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(15) 前向き研究の基本的特徴を説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(16) 相対危険度、寄与危険度、人口寄与危険度を説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(17) 介入研究の基本的特徴を説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(18) 無作為割付の意義を説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(19) 健康の意味を生活との関連で説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(20) 室内の温熱要素・空気成分と健康との関連で説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(21) 住居・衣服の役割について説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(22) 音・電磁波などの物理的環境条件の健康影響について説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(23) 上下水道の仕組みと廃棄物処理の意義を説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(24) 過去と現在における主な公害被害について説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(25) 社会が直面する地球環境の問題を説明できる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(26) 環境の諸要素について測定し評価する技法を習得する。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
	(27) 公衆衛生学上の課題について調査研究し学会形式で発表することができる。		環境・予防医学基礎修練1~4、環境予防医学セミナー1・2
資格取得等	特になし。		
履修に関する 情報	履修申請の際には事前相談に応じる。社会人大学院など、勤務等で講義に出席できない場合は、日程の調整に応じる。 (問合せ先：衛生学公衆衛生学講座・内線5775)		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分		配当年次	科目名		開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特 論	必修	1 年	演習	環境・予防医学基礎修練 1	前期	30コマ	4	20単位	
		1 年	演習	環境・予防医学基礎修練 2	後期	30コマ	4		
		2年	演習	環境・予防医学基礎修練 3	前期	30コマ	4		
		2年	演習	環境・予防医学基礎修練 4	後期	30コマ	4		
		1 年	講義	環境・予防医学セミナー1	後期	15コマ	2		
		2年	講義	環境・予防医学セミナー2	前期	15コマ	2		
特別 研究	必修	1 年		特別研究Ⅰ（中間審査）	通年	15コマ	2	4単位	
		2年		特別研究Ⅱ（論文作成）	通年	15コマ	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

環境・予防医学

[illegible]

コード	MM12121050				MM12121060				MM121219010				MM121219020							
科目	環境・予防医学セミナー1				環境・予防医学セミナー2				特別研究Ⅰ				特別研究Ⅱ							
科目責任者	丹野高三				丹野高三				各（正）指導教員				各（正）指導教員							
担当者	丹野高三、赤坂憲、田鎖愛理、事嶋由佳、 下田陽樹、小野田敏行				丹野高三、赤坂憲、田鎖愛理、事嶋由佳、 下田陽樹、小野田敏行				各指導教員				各指導教員							
会場	衛生学公学衆衛生学セミナー室				衛生学公学衆衛生学セミナー室				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定							
区分等	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	2	区分	演習	単位	2	区分	演習	単位	2				
	回数	後期15コマ	配当年次	1	回数	前期15コマ	配当年次	2	回数	通年15コマ	配当年次	1	回数	通年15コマ	配当年次	2				
主な授業内容	疫学・環境医学の基礎的な知識				疫学・環境医学の研究に必要な統計の基礎に関する知識				・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調査の作成 ・中間審査の準備				・生命科学や研究手法の専門的、発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備							
アウトカム	疫学方法論の基礎および環境医学の基礎を習得する。				自ら疫学・環境医学のデータを分析できる。				生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査> 1年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調査に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成>学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文が作成できる。							
コンビテンス番号/達成度	コンビテンス1 B	コンビテンス2 B	コンビテンス3 B	コンビテンス4 B	コンビテンス5 B	コンビテンス1 A	コンビテンス2 A	コンビテンス3 A	コンビテンス4 A	コンビテンス5 A	コンビテンス1 B	コンビテンス2 B	コンビテンス3 B	コンビテンス4 B	コンビテンス5 B	コンビテンス1 A	コンビテンス2 A	コンビテンス3 A	コンビテンス4 A	コンビテンス5 A
	コンビテンス6 B					コンビテンス6 A					コンビテンス6 B					コンビテンス6 A				
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。									各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「中間審査の手引き」を参照。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。					
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。									「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。										
講義日程	時間割参照																			
教科書 参考書																				

●時間割

環境・予防医学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						基礎科目
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						特別研究Ⅰ・Ⅱ
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30	環境・予防医学基礎修練Ⅰ・Ⅲ	環境・予防医学セミナーⅡ	環境・予防医学基礎修練Ⅰ・Ⅲ	環境・予防医学基礎修練Ⅰ・Ⅲ	環境・予防医学基礎修練Ⅰ・Ⅲ	
6 限	19：40～21：10						
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						基礎科目
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						特別研究Ⅰ・Ⅱ
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30	環境・予防医学セミナーⅠ		環境・予防医学基礎修練Ⅱ・Ⅳ	環境・予防医学基礎修練Ⅱ・Ⅳ	環境・予防医学基礎修練Ⅱ・Ⅳ	
6 限	19：40～21：10						

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						